

◎夏島貝塚の土砂崩れについて

1 発生場所

夏島貝塚北東部斜面

2 災害確認日

令和 8 年 6 月 30 日（火）

3 災害後の対応

6 月 30 日（火）午前中に当該地の除草作業を行う予定であった事業者から、夏島貝塚の斜面の一部が崩落している、と生涯学習課に連絡がありました。

職員が午後 1 時頃に現地へ急行したところ、倒木がフェンスを越えて歩道をふさいでいる状況を確認したため、道路維持課および道路維持センター職員の応援を受けて、倒木の除却および注意喚起の表示とカラーコーンによる歩道の安全確保処置を施しました。

あわせて隣接地である海洋研究開発機構（以下、「JAMSTEC」という。）、住友重機械工業株式会社横須賀製造所及び日産自動車株式会社追浜工場に災害の概況を説明し、社員等への注意喚起をお願いしました。

今後、更なる崩落の危険性があるため、建設部の協力を得て、当面の間、一部区間について車線減少や歩行者の通行規制などの交通規制を行っています。

災害発生の正確な日時は不明ですが、6 月 27 日（土）の台風 7 号、8 号による風雨が原因によるものと思われます。

4 史跡とその管理

夏島貝塚は国内最古（縄文時代早期）の貝塚の一つであり、昭和 47 年に国の指定を受けた史跡です。

所有者は文化庁で、横須賀市は管理団体として史跡の管理を行っています。

夏島貝塚北側の市道に面する斜面一帯は、金属製の落石防止網をアンカーで止めていたほか、落石防止柵を設置していました。また、歩道の妨げになる枝の剪定や柵のつる取りを年数回行っています。

今回の土砂崩れ（高さ約 20m、幅約 20m）によって一部の落石防止網が押し流され、アンカーが外れた状態です。

5 物損事故について

今回の土砂崩れに伴う倒木と土砂によって、隣接する J A M S T E C の資材置き場のフェンスを破損しました。そのため、管理団体である市は、J A M S T E C 職員に土砂崩れの概況を説明し、フェンス破損のお詫びをいたしました。今後、破損したフェンスの補償等について、史跡の所有者である国と J A M S T E C と協議してまいります。

6 今後の対応

応急措置として市道を一部閉鎖しており、また、史跡地の次の崩落も想定されることから、斜面の安全対策工事を行うため、国や関係部局等と早急に協議を進めてまいります。